

令和八年度 役員紹介

地区青少年育成連絡協議会

会長 山口 和夫
副会長 齋藤 芳昭 鈴木 昌克
監事 清澤 穰 齋藤 学

市町民会議会長（上段）及び推進員会長（下段）

米沢市 山口 和夫 土屋 博
（改選予定）
・南陽市 長谷川謙一 後藤 優美
・高島町 清澤 穰 清澤 穰
・川西町 遠藤 勝則 金子 達
・長井市 平 みわ 鈴木 昌克
・小国町 高橋 義彦
・白鷹町 齋藤 芳昭 布施 剛志
・飯豊町 鈴木 正人 齋藤 学
（改選予定）

事務局

置賜総合支庁保健福祉環境部
こども家庭支援課

課長 大場 智美
課長補佐 長岡美佐保
主事 布川 愛子
青少年専門員 板垣 健・小野 明彦

「地域とともに育む
誇りと郷土愛」

南陽市青少年育成市民会議
令和七年度会長 渡部 時裕



少子化や情報化の進展、地域社会の変化により、子どもたちを取り巻く環境

は大きく変化しています。その中で、青少年が健やかに成長し、社会の一員として主体的に生きていく力を育むことが、これまで以上に重要となっています。

提言

「共に育つ大人へ」

高島町青少年育成推進委員会

会長 清澤 穰



家庭や地域で子どもたちと接する時、私たちはつい「ちゃんとしてほしい」と願ってしまいます。しかし、その「ちゃんと」という言葉の裏側には、ともすると一方的な大人の都合や価値観が隠れているのかもしれない。

私たち大人は、子どもたちを導く存

当市民会議では、幼児期から思春期にかけての重要な家庭教育の振興を図るため、市内各保育施設・小中学校・PTAなどが実施する「家庭教育講座」を支援しています。多くの関係者の協力のもと、児童生徒・未就学児・保護者・地域住民・教職員など、幅広い世代が関わる取り組みが進められています。

講座では、家庭教育における具体的な課題を取り上げ、地域との連携・共有を図りながら開催されています。内容は、基本的な生活習慣の確立、規範意識の醸成、情報モラルやメディアリテラシー、食と健康、体験活動、地域行事への参加など、多岐にわたっています。

これらの取り組みは、家庭・学校・地域がそれぞれの役割を果たしながら連携し、「地域の教育力」を高めることにつながっています。そして、子どもたちが自らの地域に誇りを持ち、将来にわたってふるさとを大切にすることを育んでいくことが期待されます。

子どもたちは地域の未来そのものです。大人との関わりの中で育まれる経験や学びが、子どもたちの成長の礎となります。地域全体で子どもを見守り、支え合いながら、「地域に誇りを持つ心」を育てるとともに、郷土愛の醸成を図っていくことが、今後ますます求められています。

在であると同時に、これからの社会を共に歩む「伴走者」でもあります。だからこそ、「こうあるべき」という枠組みを押しつけるのではなく、子どもたちのありのままの姿や声に耳を傾け、自分自身の向き合い方を問い直す姿勢が大切なのではないでしょうか。

「普通はこうだ」という無意識の感覚は、決して普遍的な正解ではなく、自分自身の経験や立場から形づくられた、一つの指標に過ぎません。価値観とは、多様な人との関わりの中で揉まれ、磨かれ、更新されていくものです。青少年育成の取り組みも同様で、単に行事や仕組みを整えるだけでなく、大人自身が自らの価値観をアップデート

子どもたちが歩む道は、彼ら自身のものです。大人は完璧な手本である必要はありません。固定観念を少し手放し、共に悩み、学び続ける。そんな「共に育つ大人」が増えていくことが、地域をより温かく、子どもたちにとって居心地のよい場所に変えていくのだと信じています。



山形県青少年育成県民会議 令和八年度 事業計画

◆県民運動総合推進事業◆

県下全域における県民運動の推進
(1) いじめ・非行をなくそう
やまがた県民運動

- ① 市町村民会議等に対する支援
- ② 標語の募集、広報、周知、表彰
- ③ 小中学生、高校生、特別支援学校生を対象とする運動の展開

- ④ 「いじめ・非行防止セミナー」の開催
- ⑤ インターネット利用研修会の開催
- ⑥ 県内の民間企業・団体等との連携

(2) 「大人が変われば子どもも変わる」県民運動の推進に対する助成

- ① 地区青少年育成連絡協議会が実施する地域実践活動
- ② 市町村民会議等との連携による県民運動推進基盤の強化活動
- ③ 地区青少年育成連絡協議会が市町村民会議等と共同して行う運動

◆青少年育成意識醸成、青少年のための環境づくり推進事業◆

(1) 明るいやまがた夏の安全県民運動
(七月二十一日～八月二十日)

- (2) 青少年健全育成県民大会の開催
(十月二十五日：シエルトーなんようホール)
- (3) 山形県少年の主張大会の開催
(九月十五日：山形県生涯学習センター)

(4) 青少年のための環境づくり懇談会

◆青少年育成広報啓発事業◆

- (1) 防犯広報ポスター・標語の募集
- (2) 機関紙等の発行(六月、十二月)
- (3) 「家庭の日」の普及啓発
- (4) 県内の民間企業・団体等との連携
- (5) ホームページを活用した情報発信の強化
- (6) 県民運動の啓発及び情報提供

合同研修会(講演会)

演題「世界を旅して住んで
働いて歩いた50年」

冒険家 小松 登志子氏
(長井市出身)

六月二十七日、長井市置賜生涯学習プラザを会場に、置賜社会教育振興会、置賜地区青少年育成連絡協議会、長井市まちづくり青少年育成市民会議による合同研修会が開催されました。

講師は、世界各地での生活やネパールでの支援活動等をもとに、人との出会いやつながりの大切さについて語られました。特に、ネパールの震災を契機に始めた活動では、物資の支援にとどまらず、手紙や交流を通して心を届けることの意義が紹介され、現地の人々との温かな絆が育まれていったことが印象的でした。

挑戦を恐れず主体的に行動すること、そして人との縁を大切にすることが、人生をより豊かなものにしていくことを実感できました。



米沢市 市民大会での標語優秀作表彰



長井市 黒獅子まつり終了後の夜間街頭指導



南陽市 熊野大社例大祭街頭補導



高畠町 街頭での啓発活動